

令和7年度 第2回 浅間小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和7年7月25日(金) 午後1時30分から午後3時00分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 鈴木 秀志、高橋 与人、市原 美智恵、鈴木 明子、岡本弥佐、加藤 好洋、  
岩崎 香織、川合 正二
- 4 欠席委員 伊藤 元之
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 由紀、佐藤 穂
- 6 学 校 鈴木 啓二(校長)、土屋 里佳(教頭)、宮崎 由季(教務主任、CS担当職員)、栗田  
加奈(CSディレクター)、田中 滋子、島津 貴仁、大石 正寿、  
山口 智子、河村 鮎美、河野 里美、鈴木 耕太、山田 幸輝、松田 唯、  
河村 由美子、村松 麻衣子、小澤 恵介、山本 美奈子、緒方 悠汰、谷川 悠、  
村瀬 遥日、中嶋 佑介、大庭 利恵、高野 航希、原田 愛莉、大谷 侑、  
杉山 早苗、鈴木 沙友里、深津 智尋

7 傍聴者 なし

8 会議録作成者 栗田 加奈(CSディレクター)

9 議長の選出

鈴木会長から欠席の伊藤元之委員に代わり、高橋 与人委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

(1)主体性を育む活動について

11 会議記録

司会の教頭から委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)主体性を育む活動について

議長の指示により、各学年から別紙資料に基づき、1学期の主体性を育む活動についての報告があった。

・つばめボランティアの方々の関りは、子供たちの主体性を育てることに効果的である。地域の大人がみんなで関り、子供たちをほめ、育てていくとよい。(1グループ)

・SNS等子供たちを取り巻く環境が日々大きく変化している。その中で子供たちが主体的に選び、選択していくことが必要である。(2グループ)

・子供たち自身が選ぶ機会を作ること、子供たちが多くの大人に認められ、ほめてもらえることが大切。学校だけでなく地域みんなで育てていきたい。(3グループ)

・周囲の大人の働き掛けが必要である。多くの大人が関わることで、主体性が育まれるのではないか。(4グループ)

・子供たちが自主的に学びたいと思える手立てが大切ではないか。子供たちは成長過程や特徴により、さまざまであるため、フォローアップについても考えていく必要がある。

(5グループ)

- ・縦割りの異学年との関りは主体性を育むことに効果的ではないか。今ある活動に工夫を加えていくとよいのでは。(6グループ)
- ・2学期には、主体的な活動を1学期より様々な場の設定をしていく必要がある。(7グループ)

議長が成果と課題を整理し、2学期から取り組んでもらいたいことについて会長より学校に提案があった。

- ・地域に学習材や人材が豊富にあるので、地域に出て活動できるとよい。
- ・場の設定はきっかけの一つであるため、その時の子供たちの実態に合わせて支援を変化させていってほしい。
- ・その教科が好きになるような投げ掛けをしてほしい。そして、発達段階に合わせて取り組んでほしい。

#### その他連絡事項

- ・学校支援活動についての報告

学校支援コーディネーターから、別紙に基づいて1学期の活動報告があった。

- ・次回開催について

教頭から次回の学校運営協議会の予定日程について連絡があった。

次回議長選出について、伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。